

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	2	健康・福祉
主要施策名	7	健康づくり
5年後の まちの姿	○市民が疾病の予防や悪化防止に努め、生きがいや張り合いを感じながら生活を送っています。	
施策展開の 基本的な考え方	<p>行政は、市民の心と体の健康を守るため、健康に関する啓発や専門的な指導、市民活動に対する支援等を行います。</p> <p>市民等は、自分の健康は自分で守るという意識の下、適切な生活習慣を心がけるとともに改善し、各種健康診査や元気づくりプログラム等に積極的に参加するとともに、関心のあるボランティア活動に参加します。</p>	
実現に向けた 取組	<p>①ライフステージに合わせた健康づくりの推進</p> <p>②早期発見・早期治療の体制強化</p> <p>③元気・ふれあい・生きがいづくりの推進</p>	
施策担当課	健康づくり課	
施策関係課・係	市民生活課 ほけん年金係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	211,577	208,177	235,092		
事務事業数	20	20	21		
うち、事務事業評価対象	12	12	12		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
国民健康保険加入者の特定保健指導該当者出現率	%	12.3	11.6	10.9	10.9			10.0
8020（20本以上の歯を有する75歳から84歳まで）を達成している市民の割合（アンケート調査）	%	42.6	—	—	44.4			45.0
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民の割合（アンケート調査）〔再掲〕	%	男 21.1 女 17.9	—	—	男 32.6 女 28.3			男 26.9 女 21.0
胃がん検診受診率	%	6.8	6.4	6.2	5.9			40.0
自分は健康だと思う市民の割合（アンケート調査）	%	80.9	—	—	84.1			82.0
8020（20本以上の歯を有する80歳）を達成している市民の割合（後期高齢歯科健診受診者）（年間）	%	52.3	44.4	52.5	62.2			60.0

1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（男・女）の割合（特定健診受診者30歳から74歳まで）（年間）	%	男 43.5 女 41.6	男 43.8 女 43.6	男 41.9 女 42.3	男 40.7 女 37.8			男 50.0 女 45.0
---	---	------------------	------------------	------------------	------------------	--	--	------------------

<p>成果指標による 現状分析</p>	<p>国民健康保険加入者の特定保健指導該当者出現率については、特定保健指導実施率が高いことが出現率の減少に寄与していると考えられる。（胎内市特定保健指導実施率は50.2%（県平均41%））</p> <p>8020（20本以上の歯を有する75歳から84歳まで）を達成している市民の割合（アンケート調査）については、76歳、80歳の後期高齢歯科健診や令和5年度から20歳及び30歳の歯科健診を開始したことや特定健診結果説明会での歯科健康相談を開始したことにより、前回の調査に比較し上昇していた。</p> <p>令和6年度のアンケート結果では、運動習慣のある人の割合（運動習慣の定義：週2回以上、1回30分以上、1年以上継続）は、元気づくりプログラムで運動の機会や運動習慣定着促進事業紹介、通いの場支援、健康アプリの活用について支援を行うことにより、目標を達成していたと考える。</p> <p>令和6年度のアンケート結果では、運動習慣のある人の割合（運動習慣の定義：週2回以上、1回30分以上、1年以上継続）は、元気づくりプログラムで運動の機会や運動習慣定着促進事業の紹介や通いの場支援、健康アプリの活用について支援を行うことにより、目標を達成していたと考える。</p> <p>当初目標設定した時には市の胃がん検診申込者を対象とし、受診率を算出していたが、全県と比較できるようにがん検診結果報告の受診率を指標としたため、胃がん検診受診率については、がん検診結果では、対象者が40歳以上の全市民となり、職場の検診を受けた方が除外できないため目標が達成できない状態になっている。</p> <p>がん検診（定期的ながん検診を受け、精密検査となった場合がんの治療の必要性の有無を確認することの重要性）の周知や受けやすい環境の整備をしていく必要がある。</p> <p>自分は健康だと思ふ市民の割合（アンケート調査）については、平成12年から元気づくりプログラムを実施し、元気ふれあい広め隊の人達は人とのつながりができている人が多く、地区組織への参加につながる人、住んでいる地域で活躍している人などが増え、研修会では心身の健康づくりについて実施していることにより、前回の調査に比較し上昇したと考える。</p> <p>8020（20本以上の歯を有する80歳）を達成している市民の割合（後期高齢歯科健診受診者）（年間）については、歯の大切さを市報や特定健診結果説明会、中小企業の健診会場で啓発したことから、8020達成していた割合は増加していた。</p> <p>1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（男・女）の割合（特定健診受診者30歳から74歳まで）（年間）については、運動の普及啓発を特定健診結果説明会等で実施していたが、運動実施率は前年度より減少した。</p>
-------------------------	--

3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	<p>◇評価指標としている胃がん検診受診率は、減少しており、がん検診事業の評価としても達成できなかった。</p> <p>「元気・ふれあい・いきがい・つながり」づくりの推進として市民が主体となって運営している元気づくりプログラム活動は自主化し、住民自身が身近な地域や仲間を広げる取り組みに変更し、令和7年度には健康たいない21計画策定の研修会等で健康課題を市民と共有し、受けやすい環境等を今後検討していくこととしたため、やや遅れているとした。</p>

4 取組の状況と今後の方向性

① ライフステージに合わせた健康づくりの推進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリック症候群対策、糖尿病対策、ロコモティブ症候群対策、子どもの肥満対策等、目的や年齢に合わせた生活習慣改善のための知識や実施方法の普及に努めます。 ・全身の健康維持につながる歯と口腔の健康のため、歯科健診や歯科指導の拡充を図ります。 ・健康づくりのため、ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内、ふれすば胎内の利用促進等の方策を検討し、地域での「通いの場」等で自宅でも継続できる運動の実践や運動に取り組めるような仕組みを構築します。
これまでの主な取組と実績
<p>◇特定健診未受診者への訪問を実施。</p> <p>30歳以上の市民、40歳以上の国民健康保険加入者、後期高齢者を対象に集団での特定健康診査及び結果説明会を実施した。</p> <p>40歳以上の国保加入者には指定医療機関での個別の健康診査を実施した。</p> <p>35歳以上の国保加入者と後期高齢者には人間ドック受診費用の助成を行った。</p> <p>メタボリック症候群該当者には、特定保健指導を実施した。</p>

<p>特定健康診査と同じ項目の検査を職場や通院中の医療機関等で既に受けられている場合、その検査結果を提供してもらうことで特定健診を受診したとみなす「みなし健診」を実施した。</p> <p>糖代謝異常の方やメタボ該当者には糖尿病予防講座等を案内した。</p> <p>乳幼児健診では親子の食事、体調管理、歯の健康について指導を実施した。</p> <p>◇40歳、50歳、60歳、70歳の成人歯科健診を実施した。</p> <p>1歳親子歯科健診を実施した。妊産婦歯科健診を実施した。</p> <p>76歳、80歳の後期高齢歯科健診を実施した。</p> <p>令和5年度から20歳及び30歳の歯科健診を開始した。</p> <p>特定健診結果説明会での歯科健康相談を開始した。</p> <p>◇ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内、ぶれすぼ胎内で、ウォーキング関連の元気づくりプログラムを市民と一緒にPRした。</p> <p>特定健診受診者に対して、ぶれすぼ胎内の運動習慣定着促進事業を集団健診受診者に紹介した。</p> <p>にこ楽・胎内での通いの場の立ち上げを福祉介護課、健康づくり課で支援した。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇特定健診結果説明会では市民が受診結果を確認し、振り返る機会としている。</p> <p>糖尿病、高血圧、慢性腎臓病の重症化予防対策として、糖尿病予防講座や特定保健指導、医療機関への受診勧奨等を引き続き実施する。</p> <p>特定健診の受診率を維持するため、集団健診、指定医療機関の個別健診、人間ドック、みなし健診、未受診者訪問の実施を継続し、電子申請などで特定健診を申込みできるようにしていく。</p> <p>子育て中は、子どもの健康だけでなく自分の健康にも関心を持ちやすいとされているため、妊娠中や乳幼児健診時の保健指導を行う。</p> <p>◇令和5年度から20歳及び30歳の歯科健診を開始した。若い世代が歯科健診を習慣化するきっかけになるよう取り組んでいく。令和7年度から健康増進事業対象の歯科健診が拡大されたため、歯科医師会と調整し市独自の5歳刻みの歯科健診を増やすことが可能か検討し、令和7年度拡大した。</p> <p>特定健診結果説明会での歯科健康相談で、歯と口腔の健康を確認する機会となり、全身の健康状態の維持にもつながるため、継続して実施していく。</p> <p>◇運動習慣を身につけるきっかけとして、元気づくりプログラムで運動の機会や運動習慣定着促進事業を集団健診受診者に紹介したが、健診で運動習慣の増加にはつながらず、運動習慣定着促進事業の増加もわずかだったため、周知方法等を工夫していく必要がある。</p> <p>通いの場等を、福祉介護課及び健康づくり課で支援していく。</p> <p>働く世代へはアプリの活用も運動の習慣化につながるため、これを継続し、スポーツ振興係と連携し、イベント等でも活用し、普段の運動習慣の定着の支援をしていく。</p>

② 早期発見・早期治療の体制強化

<p>施策の内容</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査とがん検診の受診率向上に向けて、実施場所の拡大や無料クーポンの配付といった取組を継続するとともに、未受診者の実態把握を行って新たな対策を検討します。 ・市内企業等と連携して、働き盛りの世代に対する疾病予防の働きかけを拡大します。
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<p>◇無料クーポン券の配布を国が対象としている子宮、乳、市独自に胃、大腸がんとし、対象者に配布した。</p> <p>黒川地区の特定健診と胸部レントゲン、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診を同時に受診できるようにしている。</p> <p>旧中条町地域では、特定健診を「ほっとHOT・中条」のみの受診から乙地区、築地地区でも受診できるようにした。乙地区、築地地区では、特定健診と胸部レントゲン、肺がん検診、大腸がん検診を同時受診できるようにしている。</p> <p>特定健診未受診者には訪問し、がん検診未受診者には市報での受診勧奨や再通知を実施した。</p> <p>精密検査対象者には、郵送、来所、訪問等で精密検査の受診を促し、受診していない場合には再度受診勧奨を実施した。</p> <p>◇中小企業の健康診断会場で、テーマを決め生活習慣病予防について展示、相談、チラシの配布等を実施している。</p>

<p>中小企業に対して、健康づくりについてアンケートを実施し、(640 社配布し、回答は 14 社) 健診後の結果把握の方法、受動喫煙対策、健康教育等の支援希望を把握し、支援希望した 1 事業所には希望を聞き取りし、資料を送付した。</p> <p>健康経営推進企業について回答のあった 2 社に聞き取りし、内容を事業者向けの便りや、市報に掲載した。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇特定健診とがん検診をできるだけ組み合わせることで、受診者の増加につながっている。また、同時実施で、通知の出し方などが複雑になり、事務量が増加しているため、システム改修等による効率化が必要になる。</p> <p>乙地区、築地地区での受診も可能になったことで、後期高齢者の受診者数が増加している。今後は、他の地区でも健診を受けられるよう努めていく。</p> <p>無料クーポン券の配布は受診のきっかけになることが多いので、継続実施をしていく。</p> <p>がんの早期発見には、精密検査対象者が精密検査を受けることが欠かせないため、精密検査の受診勧奨を継続して実施していく。</p> <p>◇健康管理まで行っている中小企業は少ないため、中小企業の健診時が胎内市の健康づくりについての情報を提供できる機会となっている。商工会との連携を大切にしながら、事業を継続していく。</p>

③ 元気・ふれあい・生きがいくりの推進

<p>施策の内容</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働による健康づくり活動の拠点であるほっと HQT・中条とにこ楽・胎内を中心に、元気ふれあい広め隊の育成と元気づくりプログラム等の充実を図ります。 ・地域包括支援センター（介護予防・日常生活支援総合事業等）や生涯学習、生涯スポーツの各分野と連携して、市民による地域でのサロン活動、サークル活動等を促進します。 ・ストレス等によるうつ状態や精神的不調の改善及び自殺予防に向けて、相談支援体制の拡充や支援者となる市民を対象にした研修等の開催に取り組みます。
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<p>◇高齢者が多いため感染防止対策を考慮した方法を参加者とともに検討し、元気づくりプログラムを実施し、調理実習やイベントを再開した。</p> <p>令和 4 年度は新規参加者を増やすため、元気づくりプログラムの PR 動画を作成した。</p> <p>令和 6 年度は元気づくりプログラムの自主化を図り、自主活動に移行したり、プログラムを終了したものもあった。元気ふれあい広め隊の研修会等を実施し、参加者の満足度は高かった。</p> <p>◇地域でのサロン活動の支援を、福祉介護課健康長寿推進係、地域包括支援センター、胎内市社会福祉協議会、生涯学習課と連携して行っている。</p> <p>◇暮らしとこころの相談会を新発田保健所と共催で実施した。</p> <p>こころの相談会を年 2 回実施していた。</p> <p>メンタルヘルス研修会、支援者研修会、地域づくり研修会、心の健康づくり講演会を実施した。</p> <p>自殺予防のためのネットワーク会議を実施した。</p> <p>令和 5 年度第 2 次いのちを支える胎内市自殺対策計画を策定した。生活の困りごとのアンケート調査を実施した。</p> <p>特定健診で相談を希望する人を把握し、地区担当保健師から連絡をしている。</p> <p>令和 6 年度ひきこもりフォーラムを実施した。</p>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<p>◇元気づくりプログラムの自主化を図り、自主活動に移行したり、プログラムを終了したものもあった。元気づくりプログラムで人とのつながりができている人が多いため、地区組織への参加につながる人、住んでいる地域で活躍している人など、研修会で学んだこと等を活かして活躍している人材となっている。</p> <p>にこ楽・胎内での自主活動の会や通いの場の参加につながっている人もいる。</p> <p>元気づくりプログラムへの支援は少なくしていくが、地区組織への研修会等は引き続き実施していく。</p> <p>◇サロン活動、サークル活動等については、関係機関と連携し、引き続き支援していく。</p>

◇生活の困りごとの調査を実施し、生きづらさを抱える人の対応の必要性があり、世代を問わず心身の健康や困りごとの相談もあるが、相談の必要性を自覚できない人もいることがわかった。

ひきこもりフォーラムを実施し、市内のひきこもりの家族、当事者の参加は少なかったため、参加しやすい内容や講演会の方法などを検討していく。

相談会の周知方法の工夫や支援者のスキルアップなども必要である。

引き続き心の健康と自殺予防対策を推進していく必要がある。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>◇集団健（検）診では対象が感染リスクの高い高齢者が多いため、感染症対策を徹底し実施していく。</p> <p>新規受診者や健（検）診離脱者の傾向を分析し通知の工夫や、未受診者への再通知の時期などを検討し、電子申請を活用した特定健診の受診希望を調査など実施していく。</p> <p>がんの早期発見・早期治療につながるように精密検査受診率を100%にするように努める。</p> <p>がん患者になっても治療と社会参加の両立ができるように支援していく。</p> <p>元気ふれあい広め隊、食生活改善推進委員などの地区組織活動を実施している市民と健康課題を共有し、健（検）診のPRや生活習慣の改善、心の健康づくりの普及啓発を市民協働で実施していく。</p> <p>人生100年時代を見据え、保健事業と介護予防等の一体化実施を開始し、生活習慣病予防、フレイル対策を実施し、成人期から高齢期までの健康課題（糖尿病、非肥満高血糖等）が共通していることもわかったため、切れ目ない支援が必要であり、継続実施していく。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
210110	う蝕予防事業	3,603	6,859	◎	③	健康づくり課
210111	健康教育・健康相談事業	792	1,133	◎	③	健康づくり課
210112	訪問指導事業	445	822	◎	③	健康づくり課
210113	特定保健指導事業	696	1,045	△	②	健康づくり課
210114	国民健康保険保健指導事業	3,451	4,423	△	③	健康づくり課
210121	食生活改善推進事業〔国民健康保険事業特別会計〕	25	62	◎	③	健康づくり課
210220	結核対策・予防接種事業	102,958	106,986	○	③	健康づくり課
210221	特定健康診査事業	24,032	26,162	○	③	健康づくり課
210222	各種がん検診等健康診査事業	27,855	33,571	△	②	健康づくり課
210310	ほっとHOT中条管理事業	16,538	19,774	○	③	健康づくり課
210311	健康づくり推進事業	1,489	7,034	○	③	健康づくり課
210312	にこ楽・胎内運営事業	8,099	10,524	◎	③	健康づくり課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210110		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者	
事務事業名	う蝕予防事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	21	健康づくり		予算科目	04 衛生費
主要施策	7	健康づくり		01	ライフステージに合わせた健康づくりの推進		項	01 保健衛生費
				10	う蝕予防事業		目	02 母子衛生費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令				
	法令による義務付け			義務+任意				
関連例規	胎内市歯科保健推進事業実施要綱			関連計画		第3次健康増進計画「健康たいない21」、胎内市歯科保健計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	乳幼児期、園児、小中学生のむし歯・歯肉炎予防対策、成人・高齢期の口腔機能の維持・改善のための健康教育など生涯を通じた歯科保健対策を行い、健康で質の高い生活を営むことができる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児歯科健診 ・むし歯予防・歯肉炎予防教室 ・フッ素塗布 ・フッ化物洗口
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,969	3,982	3,603	6,859	
単位コスト	算出方法				
	集団健診に係る費用（従事者報酬+消耗品）/集団（1歳、1歳6か月児、2歳、3歳児）での健診延受診者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	3,525円	3,795円	4,567円 受診者数 516人		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	歯科健診実施回数	歯科健診実施回数	歯科健診実施回数	歯科健診実施回数	
	目標	36回	33回	30回	30回	
	実績	36回	33回	30回		
成果指標	名称	12歳児一人平均むし歯数	歯周疾患要観察者（G0）又は歯肉炎（G）を有する中学生の割合	歯周疾患要観察者（G0）又は歯肉炎（G）を有する中学生の割合	歯周疾患要観察者（G0）又は歯肉炎（G）を有する中学生の割合	歯周疾患要観察者（G0）又は歯肉炎（G）を有する中学生の割合
	目標	0.4本	28.0%	27.0%	26.0%	25.0%
	実績	0.34本	27.4%	21.2%		
	目標比	117.6%	102.1%	121.5%		

6 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防事業として子ども中心のフッ化物塗布、フッ化物洗口を行ってきたが、成人期、高齢期も対策が必要であり、国の補助金も全世代対象に変わってきている。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					
特定健診事業において成人歯科健診および後期高齢者歯科健診を、また、う蝕予防事業においてフッ化物塗布、フッ化物洗口および乳幼児歯科健診をそれぞれ実施した。しかし、これらの事業については、令和7年度から「歯科保健事業」として一本化し、より効率的かつ効果的に実施する方針とした。					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210111		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者		
事務事業名	健康教育・健康相談事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款項 目	
主要施策	7	健康づくり	01		ライフステージに合わせた健康づくりの推進		04		衛生費
			11		健康教育・健康相談事業		01		保健衛生費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	健康増進法			
関連例規	法令による義務付け			努力義務	関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が生活習慣病予防について関心・意欲が高まり、実践方法を取り入れられるようになることを目的に各種健康教育・健康相談を集団又は個別による手法で実施する。
主な実施内容	・地区健康教育・相談会開催
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	945	899	792	1,133	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	地区で健康教育・健康相談を実施した回数	地区で健康教育・健康相談を実施した回数	地区で健康教育・健康相談を実施した回数	地区で健康教育・健康相談を実施した回数	地区で健康教育・健康相談を実施した回数
	目標	100回	100回	80回	80回	80回
	実績	74回	75回	68回		
成果指標	名称	健康教育・健康相談延べ参加者数	健康教育・健康相談延べ参加者数	健康教育・健康相談延べ参加者数（75歳以上）	健康教育・健康相談延べ参加者数（75歳以上）	健康教育・健康相談延べ参加者数（75歳以上）
	目標	1,000人	1,000人	600人	600人	600人
	実績	714人	686人	600人		
	目標比	71.4%	68.6%	100%		

6 事業の課題

事業の課題					
/					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
/					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					
/					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210112		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者	
事務事業名	訪問指導事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	21	健康づくり		予算科目	04 衛生費
主要施策	7	健康づくり		01	ライフステージに合わせた健康づくりの推進		款項	01 保健衛生費
				12	訪問指導事業		目	03 健康増進費
事務区分	法定受託事務	○	自治事務	根拠法令	健康増進法			
	法令による義務付け		努力義務		関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」		
関連例規								

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	保健指導の必要な人・世帯に対して、家庭訪問による指導・助言・関係機関との連絡調整など個々に適した支援を行い心身機能の低下防止と健康増進を図る。
主な実施内容	・家庭訪問による保健指導
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	722	436	445	822	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	家庭訪問実人数	家庭訪問実人数	家庭訪問実人数	家庭訪問実人数	家庭訪問実人数
	目標	700人	700人	700人	700人	700人
	実績	735人	789人	935人		
成果指標	名称	家庭訪問実施率（訪問実人数／訪問対象者）	家庭訪問実施率（訪問実人数／訪問対象者）	家庭訪問実施率（訪問実人数／訪問対象者）	家庭訪問実施率（訪問実人数／訪問対象者）	家庭訪問実施率（訪問実人数／訪問対象者）
	目標	85%	85%	85%	85%	85%
	実績	71.6%	76.3%	89.1%		
	目標比	84.3%	89.8	104.8%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210113		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者		
事務事業名	特定保健指導事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目	
主要施策	7	健康づくり	01		ライフステージに合わせた健康づくりの推進		04		衛生費
			13		特定保健指導事業		01		保健衛生費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進法				
関連例規	法令による義務付け			義務	第3次健康増進計画「健康たない21」他				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生活習慣病の予防のため、特定健診の結果から、内臓脂肪症候群及びその予備群に該当した人に対して、日常生活の行動変容を目指した特定保健指導を実施する。
主な実施内容	・特定保健指導
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	△		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、2008年から特定保健指導を実施してきたが、毎年該当になる人も多く、毎年のことなので指導を断る人もおり、指導方法、指導の機会を増やしているが、実施率増加までには至らなかったため。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	737	702	696	1,045	
単位コスト	算出方法 総事業費÷初回面接終了者数 701(千円)÷139(人)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	4,913円	5,046円	2,773円 初回面接終了者		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	特定保健指導実施率	特定保健指導実施率	特定保健指導実施率	特定保健指導実施率
	目標	58%	58%	60%	60%
	実績	62.2%	53.4%	50.2%	
成果指標	名称	受講後に生活習慣を改善できた人の割合	受講後に生活習慣を改善できた人の割合	受講後に生活習慣を改善できた人の割合	受講後に生活習慣を改善できた人の割合
	目標	80%	80%	80%	80%
	実績	62.2%	63.8%	63.9%	
	目標比	77.8%	79.8%	79.9%	

6 事業の課題

- ・特定保健指導は今後、実施率に加え、数値での評価も加わるため、対象者自身が行動変容（望ましい健康状態を維持・向上させるために、これまでの行動や習慣を意識的に改めること）できる保健指導が必要である。
- ・人間ドック委託機関では特定保健指導も実施している機関も多いことから、特定保健指導の委託機関を増やしていく必要がある。

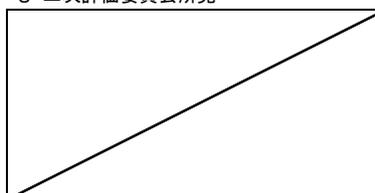
7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	②		

課題解決に向けた今後の取組

- ・行動変容を促す保健指導ができるように職員のスキルアップが必要である。
- ・人間ドック受診者の特定保健指導の受診者を増加させるために、人間ドック委託機関での特定保健指導可能な機関を増やしていく必要がある。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	⑥	
	縮小	×	⑥			
	休廃止	⑦				
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210114		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者			
事務事業名	国民健康保険保健指導事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款項 目	04	衛生費
主要施策	7	健康づくり			01	ライフステージに合わせた健康づくりの推進			01	保健衛生費
					14	国民健康保険保健指導事業			03	健康増進費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	健康増進法、高齢者医療確保法					
	法令による義務付け		努力義務		第3次健康増進計画「健康たいない21」、胎内市国民健康保険第2期保健事業実施計画					
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生活習慣病の予防のため、特定健診未受診者対策、受診勧奨判定値を超えている者への対策、特定健診継続受診対策及び早期介入保健指導を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者訪問 ・健診継続受診勧奨 ・受診勧奨指導 ・30歳代の特定健診及び保健指導
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	3,453	3,689	3,451	4,423	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
[Blank area for unit cost details]					

3 指標値の状況

産出指標	名称	特定健診受診者の保健指導実施率	特定健診受診者の保健指導実施率	集団) 特定健診受診者の保健指導実施率	集団) 特定健診受診者の保健指導実施率	集団) 特定健診受診者の保健指導実施率
	目標	90%	90%	90%	90%	90%
	実績	99%	98.6%	97.8%		
成果指標	名称	①要医療判定者の医療機関受診率 ②特定健診継続受診率	①要医療判定者の医療機関受診率 ②特定健診継続受診率	①要医療判定者の医療機関受診率	①要医療判定者の医療機関受診率	①要医療判定者の医療機関受診率
	目標	①50% ②40%	①50% ②40%	a) 血圧61.2% b) 血糖63.4% c) CKD85以上	a) 血圧61.7% b) 血糖63.9% c) CKD85以上	a) 血圧62.2% b) 血糖64.4% c) CKD85以上
	実績	①75.0% ②77.0%	①54.1% ②75.9%	a) 血圧46.7% b) 血糖78.4% c) CKD81.7%		
	目標比	①150% ②192.5%	①108.2% ②190.0%	a) 76.3% b) 123.7% c) 96.1%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210121		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者			
事務事業名	食生活改善推進事業〔国民健康保険事業特別会計〕			事業年度	令和6年度		会計区分	国民健康保険事業特別会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目	04	保健事業費
主要施策	7	健康づくり			01	ライフステージに合わせた健康づくりの推進			01	保健事業費
					21	食生活改善推進事業〔国民健康保険事業特別会計〕			01	保健衛生普及費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令					
関連例規	法令による義務付け		任意		関連計画		第3次胎内市食育推進計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域住民を対象とした健康づくりのための食生活の普及啓発及び食育推進活動、またその活動を行政と協働して取り組む胎内市食生活改善推進委員の研修支援等を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進委員の研修 ・地区での適切な食生活指導
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	58	28	25	62	
単位コスト	算出方法 参加者1人あたり費用 総事業費÷参加者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	269.0円	120.3円	219.3円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	地域での食育活動開催回数	地域での食育活動開催回数	地域での食育活動開催回数	地域での食育活動開催回数	地域での食育活動開催回数
	目標	20回	20回	20回	20回	20回
	実績	17回	22回	21回		
成果指標	名称	地域での食育活動延参加人数	地域での食育活動延参加人数	地域での食育活動延参加人数	地域での食育活動延参加人数	地域での食育活動延参加人数
	目標	200人	200人	200人	200人	200人
	実績	216人	236人	221人		
	目標比	108.0%	118%	110.5%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210220		担当課	健康づくり課	担当係	庶務係	担当者			
事務事業名	結核対策・予防接種事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目		
主要施策	7	健康づくり			02	早期発見・早期治療の体制強化			04	衛生費
					20	結核対策・予防接種事業			01	保健衛生費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	予防接種法・感染症法					
	法令による義務付け		義務+任意							
関連例規	風しん費用助成実施要綱、インフルエンザ費用助成実施要綱			関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	定期の予防接種と任意の予防接種により、免疫保有率を向上させ、感染症の蔓延を防止する。また、結核検診として65歳以上の胸部レントゲン撮影を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期予防接種 ・インフルエンザワクチン接種費用助成 ・65歳以上の胸部X線間接撮影
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	77,045	74,815	102,958	106,986	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
[Blank area for unit cost details]					

3 指標値の状況

産出指標	名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標	190人	170人	2回	2回	2回
	実績	164人	163人	2回		
成果指標	名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標	95%	95%	95%(国目標)	95%(国目標)	95%(国目標)
	実績	86.3%	95.9%	94.2%		
	目標比	91%	101%	99.15%		

6 事業の課題

課題					
[Blank area for business challenges]					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減			
コスト投入の方向性				
	削減	縮小	維持	拡大

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210221		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者			
事務事業名	特定健康診査事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目	04	衛生費
主要施策	7	健康づくり	02		早期発見・早期治療の体制強化		01		保健衛生費	
			21		特定健康診査事業		03		健康増進費	
事務区分	法定受託事務		自治事務		○		根拠法令	健康増進法、高齢者医療確保法		
	法令による義務付け		義務+任意				関連計画	第3次健康増進計画「健康たないない21」、胎内市国民健康保険第2期保健事業計画、第3期特定健康診査等実施計画		
関連法規										

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	糖尿病や脳卒中、心筋梗塞などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的にメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施する。対象：生保の30歳以上39歳は市民40～74歳は国保加入者75歳以上は後期高齢医療加入者（65歳以上の後期高齢医療加入者含む）
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査と肝炎ウイルス検査 ・骨粗鬆症検診 ・妊産婦・成人・後期高齢歯科健康診査
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	23,371	23,538	24,032	26,162	
単位コスト	算出方法 特定健診受託料（国保分）12,201千円÷特定健診受診者数（国保のみ）1,384人＝8,815円				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	8,877円	8,815円	8,724円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	特定健診実施回数（受診者100人程度/回に対応する回数）	特定健診実施回数（受診者100人程度/回に対応する回数）	特定健診実施回数（受診者100人程度/回に対応する回数）	特定健診実施回数（受診者100人程度/回に対応する回数）	特定健診実施回数（受診者100人程度/回に対応する回数）
	目標	27回	27回	27回	27回	27回
	実績	27回	27回	27回		
成果指標	名称	特定健診受診率（国保加入者）	特定健診受診率（国保加入者）	特定健診受診率（国保加入者）	特定健診受診率（国保加入者）	特定健診受診率（国保加入者）
	目標	58%	58%	49.0%	50.2%	51.4%
	実績	47.7%	48.0%	46.4	推計	
	目標比	82.2%	82.8%	94.7%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210222		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者			
事務事業名	各種がん検診等健康診査事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目		
主要施策	7	健康づくり			02	早期発見・早期治療の体制強化			04	衛生費
					22	各種がん検診等健康診査事業			01	保健衛生費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	健康増進法					
	法令による義務付け		義務+任意							
関連例規				関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	がんの早期発見、早期治療により、がん死亡を減少させることを目的に健康増進法に定められた各種がん検診等を実施する。がん患者の医療用補整具購入の助成を実施する。
主な実施内容	・胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診 ・検診無料券配布 ・がん患者医療用補整具購入助成金
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）		28,031	28,159	27,855	33,571	
単位コスト	算出方法	(総事業費+人件費) ÷ がん検診受診者数(実績)				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		3,465円	3,692円	2,820円 (アピアランスケア費)		

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	がん検診受診者数	がん検診受診者数	がん検診受診者率	がん検診受診者率	がん検診受診者率
	目標	10,000人	9,650人	胃6.4%、大腸13.6%、肺18.5%、子宮13.0%、乳19.0%	胃6.6%、大腸13.8%、肺18.7%、子宮13.2%、乳16.7%	胃6.8%、大腸14.0%、肺18.9%、子宮13.4%、乳16.9%
	実績	8,951人	8,829人	胃6.0%、大腸13.5%、肺20.7%、子宮12.6%、乳16.8%		
成果指標	名称	がん検診受診率	がん検診受診率	精密検査受診率	精密検査受診率	精密検査受診率
	目標	胃12%、大腸18%、肺23%、子宮19%、乳28%	胃6.6%、大腸13.1%、肺18.6%、子宮13.1%、乳19.0%、前立腺5.4%	胃100%、大腸100%、肺100%、子宮100%、乳100%	胃100%、大腸100%、肺100%、子宮100%、乳100%	胃100%、大腸100%、肺100%、子宮100%、乳100%
	実績	胃6.4%、大腸13.7%、肺18.0%、子宮12.8%、乳18.7%	胃6.2%、大腸13.4%、肺18.2%、子宮12.5%、乳16.3%、前立腺5.6%	胃98%、大腸86.5%、肺94.2%、子宮76.5%、乳97.6%		
	目標比	胃50.8%、大腸76.1%、肺78.3%、子宮67.4%、乳66.8%	胃94.0%、大腸102.3%、肺97.8%、子宮95.4%、乳85.8%、前立腺103.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、子宮頸がん検診を除き、精密検査の受診率は概ね目標を達成している。精検未受診者へは、現在も受診勧奨を継続しているため、今後、すべてのがん検診で目標を達成できるものと考えられる。

6 事業の課題

・国、県がPHR（パーソナルヘルスレコード）を導入していく方向であり、現在把握されていない社会保険加入者の受診状況も分かるようになり、職場と連携しながらの対策が必要になると考えられる。
・国保人間ドック受診者が毎年700人程度いるため、市のがん検診の受診者数にならないか検診機関に確認していく必要がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	②	②		

課題解決に向けた今後の取組

・PHRの導入状況により、適宜職場などと連携を図り、市全体の受診状況を把握できる仕組みづくりが必要である。
・国保人間ドック受診者のがん検診について、市のがん検診の受診者数に含まれないか検診機関に確認する。

8 二次評価委員会所見

産出指標及び成果指標について、事業内容を適切に反映できる指標を検討すること。

		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210310		担当課	健康づくり課	担当係	庶務係	担当者		
事務事業名	ほっとHOT中条管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		04	衛生費
主要施策	7	健康づくり	03		元気・ふれあい・生きがいがづくりの推進		01	保健衛生費	
			10		ほっとHOT中条管理事業		01	保健衛生総務費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	地域保健法			
関連例規	胎内市保健福祉施設ほっとHOT・中条条例			関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	総合的な健康づくりの拠点となる施設の維持管理及び運営を行う。
主な実施内容	・施設の維持管理・運営
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	19,384	18,815	16,538	19,774	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	年間の施設開設日数	年間の施設開設日数	年間の施設開設日数	年間の施設開設日数	年間の施設開設日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	360日	359日		
成果指標	名称	年間の施設利用人数	年間の施設利用人数	年間の施設利用人数	年間の施設利用人数	年間の施設利用人数
	目標	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人
	実績	29,322人	31,084人	34,733人		
	目標比	83.8%	88.8%	99.24%		

6 事業の課題

事業の課題					
/					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
/					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					
/					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210311		担当課	健康づくり課	担当係	元気応援係	担当者		
事務事業名	健康づくり推進事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款 項 目	
主要施策	7	健康づくり			03	元気・ふれあい・生きがいがづくりの推進			04 衛生費
					11	健康づくり推進事業			01 保健衛生費
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	健康増進法、自殺対策基本法				
	法令による義務付け		義務+任意						
関連例規				関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	健康増進計画及び食育推進計画の推進のため、市民協働による健康づくり活動の企画・運営及び研修会を実施する。また、こころの健康づくりを推進し、自殺予防対策にも取り組む。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働の健康づくり活動の地区組織及び人材育成 健康づくり事業及び食育の推進 こころの健康と自殺予防対策
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,218	1,399	1,489	7,034	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの開催回数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの開催回数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの開催回数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの開催回数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの開催回数
	目標	100回	100回	100回	100回	100回
	実績	92回	105	124回		
成果指標	名称	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの参加延べ人数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの参加延べ人数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの参加延べ人数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの参加延べ人数	ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画会、研修会、イベントの参加延べ人数
	目標	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	実績	609人	990人	829人		
	目標比	60.9%	99%	82.9%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		
課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	210312		担当課	健康づくり課	担当係	庶務係	担当者			
事務事業名	にこ楽・胎内運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉		事業コード	21	健康づくり		予算科目 款項 目		
主要施策	7	健康づくり			03	元気・ふれあい・生きがいがづくりの推進			04	衛生費
					12	にこ楽・胎内運営事業			01	保健衛生費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	地域保健法				
	法令による義務付け		任意		関連計画	第3次健康増進計画「健康たいない21」				
関連例規	胎内市保健福祉施設にこ楽・胎内条例									

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民協働で実施する元気づくりプログラムの活動事業や病気予防、健康増進事業等の拠点となる施設の維持管理及び運営を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりプログラムの実施 ・生活習慣病予防活動の実施 ・施設の管理運営
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	8,037	8,997	8,099	10,524	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数	にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数	にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数	にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数	にこ楽・胎内健康づくりプログラム等の実施回数
	目標	50回	50回	50回	50回	50回
	実績	7回	9回	7回		
成果指標	名称	にこ楽・胎内年間利用延べ人数	にこ楽・胎内年間利用延べ人数	にこ楽・胎内年間利用延べ人数	にこ楽・胎内年間利用延べ人数	にこ楽・胎内年間利用延べ人数
	目標	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人
	実績	5,817人	6,262人	8,475人		
	目標比	116.3%	125.2%	169.5%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組

[Blank area for future measures to solve issues]					
--	--	--	--	--	--

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					